



三条ロータリークラブ週報

1987. 5. 13

No. 1508

No. 44

ROTARY BRINGS HOPE

ロータリーは 希望をもたらす



国際ロータリー会長 M. A. T. カパラス 第256地区ガバナー 藤田 説量 (三条)

会長 — 日戸 平太 幹事 — 上木 六治 SAA — 外山 雅也

例会日 毎週水曜日 12:30

例会場 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 (TEL 34-3311)

事務局 三条市旭町2-5-10 (TEL 35-3477)

出席率: 会員 66名中 39名 : 先々週出席率: 89.39% (前年同期 91.18%)

今日のお花: 菊、カーネーション

ヴィジター: 三条南より 葦沢喜一郎君

ゲスト:

先週のメイクアップ: 5/7 新潟西へ 箱崎源伸君

5/9・10 高崎地区協議会へ 熊倉昌平君、内山辰策君、杉野奎司君、松縄 弘君、横山武四郎君、五十嵐昭一君、高橋一夫君、谷村憲一君、藤田説量君、野村竹三郎君、渡辺宏策君、小林英雄君、吉井俊介君

会長挨拶: 熊倉副会長

点鐘の打ち方について、この前藤田ガバナーに鐘の上の方より下の方が響きが良いと教わりました。いよいよ今年度も1カ月一寸になり、次年度の地区協議会が5月9日、10日と高崎で開催されました。当クラブからはガバナー事務所スタッフに次期分区代理吉井さん、それに義務出席者の次期スタッフ一同それぞれ出席して頂きました。

次年度の委員会については先般お示し致しました通りで、宜敷くお願い申し上げます。

幹事報告: 上木幹事

・ポリオ・プラスキャンペーンパンフレット

・県内会長幹事会ご案内 7月5日(日) 新井総合文化センター

- 東北電力より 広報誌「白い国の詩、
- 62年5月11日(月) VIP玉姫殿
明るい町づくり推進委員会総会へ 佐藤(聖)社会奉仕委員長

ニコニコBOX ￥11,000



- 大谷君 創立30周年に歴代会長として感謝状並びに記念品を頂き有難う御座いました。
- 金子君 先週は欠席、失礼しました。創立30周年を記念しての諸々の行事が、いつまでも記憶に残る形で終わりましたことは、チャーターメンバーの一人としてこの上ない喜びであります。
- 内山(辰)君 地区協議会に参加させて頂きました。よろしく申し上げます。
- 斎藤(弘)君 30周年の懇談会並びにVIPでのなおらいの会では大変お世話様になりました。
5月12日 内田製作所様の50周年の式典に招待を受けました。
- 大塩君 5月6日は会議の為卓話を渡辺宏策さんに変更していただきました。渡辺さん有難うございました。
- 加藤君 5月2日先輩杉野奎司さんの仲人で長女の結婚式を挙げさせて頂きました。
三条RC30周年記念式典盛況裡に終了。斎藤弘文幹事の労に深く感謝致します。大塩さんの司会ご苦労様でした。

委員会報告:

- 外山(一)職業奉仕委員長
次週は三条郵便局に於ける職場例会となります。12時30分開会で、入口は左側の裏門より入って頂き、会場は2階でございます。多数のご出席をお願いします。
- 佐藤(聖)社会奉仕委員長
5月11日に明るい街づくりの会に出席して参りました。62年度の総会で今年は予算360万円を街灯35灯を設置したいとのことです。

地区協議会報告:

- 熊倉次期会長
地区協について若干報告致します。ガバナーの挨拶の中で群馬県と新潟県では、群馬は雪の降らない県で陽に当たり、新潟はその反対で陰に当たり、陰と陽とが一つの地区にあると云うことは、お互いに長所をとり、同じ県民性の近よった処より非常に意義があり256地区は、その点有難い地区であるといわれました。懇親会に移行の時大変に待ち時間があり、ロ

ビーに多勢がびっしりで待たされたのですが、準備が出来て開宴の挨拶にガバナーは先程はロビーや廊下で色々な方と近寄って肩と肩とを合せて、お話をすることが出来て良かった。そういう時間を作って頂いて大変に有難かったと云われ、何かうまく行かなかった時は藤田ガバナーに頼むと良いと感じました。

アトラクションの時、高崎出身のシャンソン歌手が歌ったのですが、三条の地区大会で、沢たまきの歌の時、渡辺P.G.は僕はああゆう歌はダメだと云われ会場より出られたのですが、今回はホステスとダンスを非常に上手に踊っておられました。

次年度のR.I.会長のターゲットは「ロータリーアン奉仕に結束、平和に献身、であり、このターゲットのもとに活躍して下さい。

来週のファイヤーサイド・ミーティングにはご都合の好い日に是非ご出席下さい。

◦野村会員(会員増強委員会)

会員増強部会に代理出席して参りました。リーダーは斎藤P.G.サブリーダーは沼田R.C.の桑原さんで、安藤ガバナーノミニの次年度方針は純増3%ということで、当クラブに当てはめると2人以上と云うことになります。会員増強は委員会だけが頑張っても仲々増強は難しい。クラブ会長以下クラブ全員が増強に力を入れて下さい。職業分類に余り拘わることなく、また古いクラブでは質に拘わっておられる様ですが、質より量だと、入会後に自ずと順応して頂けるものと云うことですが、仲々難しい問題と思います。今一つ大事なことは現会員の中で未だに新会員の推薦の経験の無い方は、是非1名は自分の責任として推薦を頂きたい。これが新しい会員の呼び起こしになる基本です。

◦横山会員(社会奉仕委員会)

委員長の堀川さんに変更出席して参りました。リーダーは渡辺(厳)P.G.で、群馬と新潟と交互に次年度の計画を話せということで、各クラブの次年度の計画が幾つかある中で、重点的に優先して行なうのはどれかと云うことで各クラブより2~3分程度話がありまして、清掃、慰問等の事例が多かった様に聞いて参りました。

◦小林(英)会員(社会奉仕部門)

ローターアクトに就きましては、現状のお話だけで社会奉仕部門と一緒にしたので、殆んど話題になることがなく、ただアクト、インターの無い処は、なる可く作るようにと提唱がありました。

渡辺P.G.の話を一寸紹介します。「ロータリーとは何んだらう」と云われます。ロータリーは人生哲学である、人間としての欲望と社会に対する間に大きな壁があり、それを乗り越えて修練をするのがロータリーであるという話を冒頭にされたのです。これは23-4という決議があり、これが前年の手続要覧に載っていないで、今年また復活して載りました。社会奉仕の基本を謳っておりますのが、23-4であります。ロータリーの奉仕は年度を越さない様にしなさいという指導でした。またライオンズとロータリーの一番ははっきりと違う所は、ライオンズはWe サービスであり、ロータリーとしてはクラブで奉仕するという事は二番目であり、ロータリーはI サービスである。ロータリーアン個人個人が社会生活と職業生活

の中にあつて奉仕するというのがロータリーで一番大事なことで、ここが一番違うので、23-4にはそこが書かれておるのです。興味のある方は是非もう一度お読みになって下さい。

・内山(辰)会員(幹事部門)

ロータリーは建て前と本音が違ふと云われた。この事について行きの車中で話し合い建て前と本音が一緒ならロータリーは不用だといったことで、一寸この事で引掛つておつたのですが私も安心をしました。

次年度もポリオプラスが大事な要点になると聞いて参りました。細則の変更をして、財団の中に委員会をポリオプラス委員会を作るのです。

ガバナーの公式訪問は7月22日ですが、その時の注意事項として委員長欠席の時でも、代理ですとか釈明をしないで、委員として堂々と説明をしてほしい。報告書は今度から内容の順序を統一されます。

| | | | |
|-------|-------|------|--------|
| 次週例会 | 5月20日 | 職場例会 | 三条郵便局 |
| 次々週例会 | 5月27日 | 卓話 | 大塩淳二会員 |
